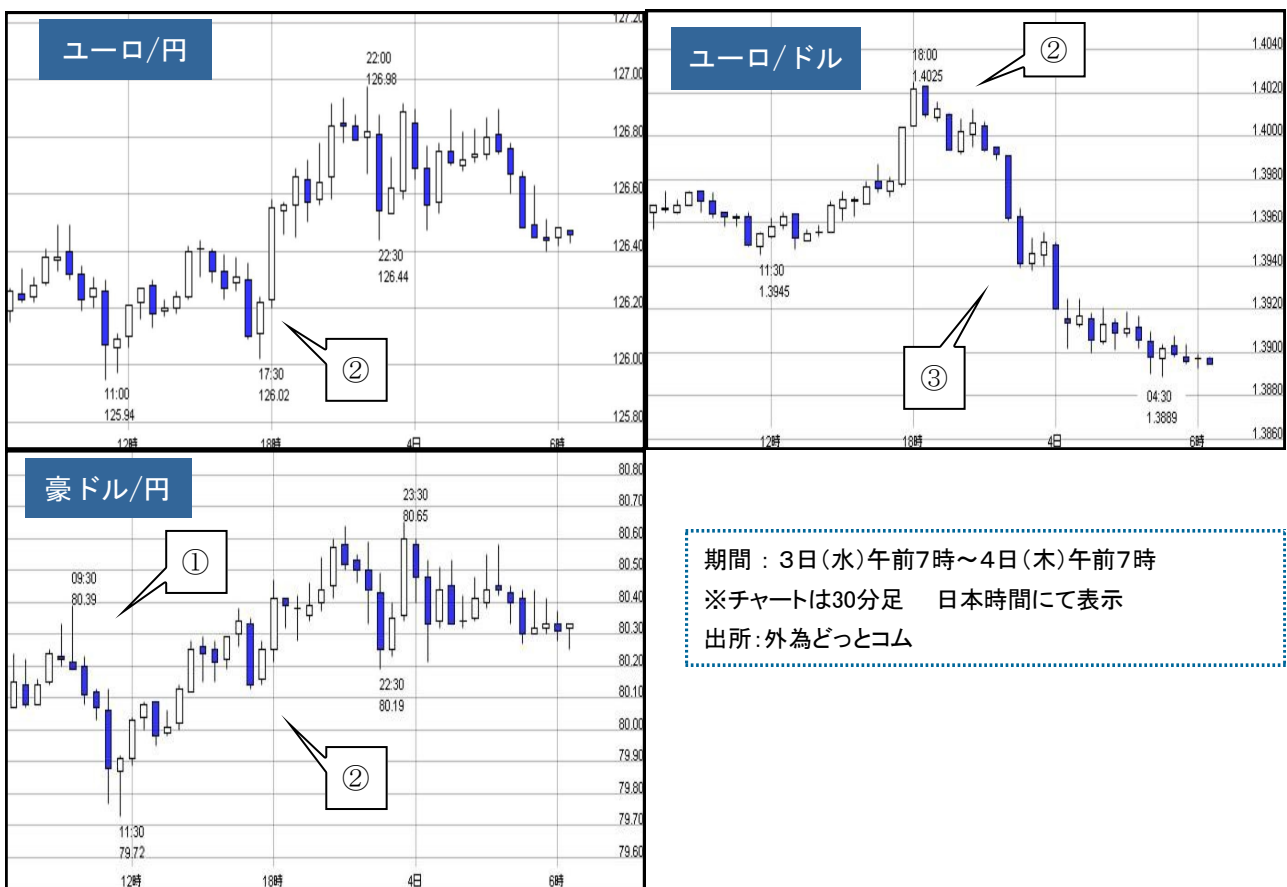


主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

2月4日(木曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

引き続き財政問題が注目を集める

3日(水)の主な推移



①

12月豪貿易収支が22.52億豪ドルの赤字となり、市場予想の24.00億豪ドルより赤字幅が減少したことが好感されて豪ドルが買われた。豪ドル/円は発表前の水準より20銭ほど上昇し、一時80.39円を記録した。

②

イランのロケット開発が成功したことで地政学的リスクの高まりがドル売り材料として意識され、ユーロ圏1月サービス業PMIが市場予想を上回り、ギリシャの財政再建計画への楽観的見通しが強まったことに加え、ユーロ/ドルの1.4000ドルの節目を狙った仕掛け的な買いが出たことで、18時過ぎには一時1.4025ドルまで上昇した。

③

1月米ADP雇用者数が雇用情勢の改善を示す結果となったことに加え、欧州における財政問題への懸念がギリシャからポルトガルに移ったことで再びユーロが売られ、ユーロ/ドルは4日午前5時前には1.3889ドルまで下落した。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・主要新興国(BRICs)を中心にドル離れに動くとの観測(ユーロ上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円の買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.3820-1.3980ドル
ユーロ/円 : 125.80-127.00円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 79.50-80.70円

昨日はギリシャの財政赤字問題が峠を越えたかに見えたが、今度はポルトガルの財政赤字がクローズアップされ、NY 時間ではユーロ/ドルが 100 ポイント以上の下落となった。

本日欧州中銀(ECB)の政策金利発表が予定されているものの、金利据え置きはほぼ確実であり、今後の金融情勢などトリシェ ECB 総裁の記者会見が注目されよう。

引き続き明日5日の米雇用統計を前に、大きく上昇する可能性は低そうである。それ以外では昨日のポルトガル問題に見られた、いわゆる PIGS 問題 が再びクローズアップ可能性もありえる。

昨日は貿易収支の赤字幅が市場予想よりも減少したことで豪ドル買いが出たものの、上海や米株式市場が下落する際には値を下げ、ロンドン時間でのユーロ上昇に伴う上昇の際には値を上げるなど、リスク許容度やユーロ動向に影響を受ける展開が目立った。

現在は来月2日に予定されているRBA理事会に向けての材料見極めの段階であり、しばらくは経済指標の発表に一喜一憂する展開が予想される。目先では明日のRBA四半期レポートにも注目したい。

本日及び明朝の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
2/4(木)	21:00	○	(英) 英中銀政策金利発表	0.50%	0.50%
	21:45	○	(ユーロ圏) 欧州中銀金融政策発表	1.00%	1.00%
	22:30	◎	(ユーロ圏)トリシェ ECB 総裁会見	—	—
	22:30	○	(米) 1/31 までの週の新規失業保険申請件数	47.0 万人	45.5 万人
2/5(金)	09:30	○	(豪) RBA 四半期レポート	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com